HITACHI

日立パーソナルコンピュータ

FLORA *210W* NL3

AirH"IN 取扱説明書

マニュアルはよく読み、保管してください。
・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、
　十分理解してください。
・このマニュアルは、いつでも参照できるよう、
　手近なところに保管してください。

はじめに

このたびは、FLORA 210W NL3（以下、パソコン）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では AirH"IN を使ったデータ通信の特徴と AirH"IN について説明しています。
AirH"IN 内蔵モデルの説明になります。
マニュアルの説明している画面およびイラストは一例です。機種によっては異なる場合があります。
説明の都合で、画面のアイコンなど、一部省略している場合があります。特に記述のない限り、画面はすべて Windows XP のものです。

もくじ

AirH"IN の概要

AirH"IN を使うことで、パケット方式および PIAFS 通信方式のデータ通信を、ワイヤレスでインターネットや E-Mail を行うことができます。

可能なデータ通信方式

128K パケット方式

DDI ポケットがサービスを行っているデータ通信方式です。
32Kbps の基**地局**を複数使用することにより、下り最大 128Kbps、上り最大 68Kbps の高速データ通信を行います。
128K パケット方式対応のアクセスポイント経由で、インターネットプロバイダーなどに接続できます。

32K パケット方式

DDI ポケットがサービスを行っているデータ通信方式です。
下り最大 32Kbps、上り最大 17Kbps でデータ通信を行います。
32K パケット方式 (つなぎ放題コース) 対応のアクセスポイント経由で、インターネットプロバイダーなどに接続できます。

フレックスチェンジ方式

DDI ポケットがサービスを行っているインターネット接続通信方式です。
通信されるデータ量に応じて 32K パケット方式と 64K PIAFS BE 方式を切り替えます。
最大 64Kbps での通信が可能です。フレックスチェンジ方式対応のアクセスポイント経由で、インターネットプロバイダーなどに接続できます。

64K PIAFS BE(ベストエフォート) 方式

DDI ポケットが 64Kbps データ通信方式で採用する方式です。
基地局の利用状況により 64Kbps と 32Kbps を自動的に切り替えるベストエフォート方式です。

32K PIAFS 方式

PHS データ通信標準規格の通信方式です。
32Kbps の高速データ通信ができます。

AirH"IN の使い方

AirH"IN を利用する

AirH"IN ユーティリティーの起動

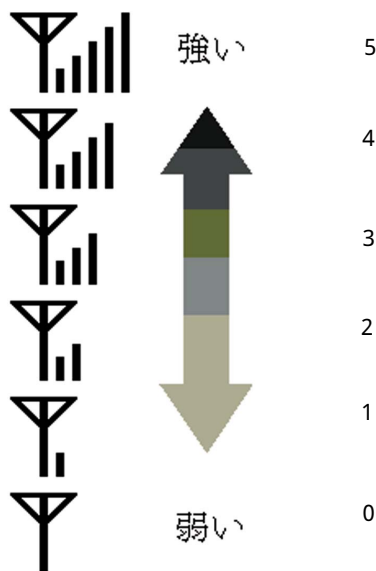
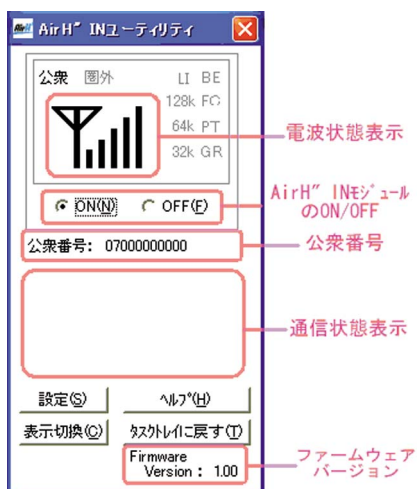
電話番号や受信できる電波の強さを確認します。

1 **[スタート] ボタンー [(すべての) プログラム] ー [AirH"IN ユーティリティ] ー [AirH"IN ユーティリティ] の順にクリックする。**

▼タスクトレーに電界強度アイコンが表示される。

（電界強度５の場合)

2 **電界強度アイコンをマウスで右クリックし、[開く] をクリックする。**

▼[AirH"IN ユーティリティ] 画面が表示される。

■ 電波状態表示
受信できる電波の強さを０～５本の棒で表示します。

■ AirH"IN モジュールの ON/OFF
AirH"IN モジュールの ON/OFF を決定します。

■ 公衆番号
電話契約している場合、公衆番号が表示されます。

ヒント

・ オンラインサインアップモデルをご購入の場合、電話契約がされていませんので、公衆番号は表示されません。そのため最初に電話契約を行ってください。

■ 通信状態表示
通信を行っている場合、通信状態や着信番号を表示します。

■ [設定] ボタン
設定画面を表示します。

■ [表示切換] ボタン
[AirH"IN ユーティリティ] 画面を簡易表示に切り替えます。

■ [タスクトレイに戻す] ボタン
[AirH"IN ユーティリティ] 画面を閉じます。

■ [ヘルプ] ボタン
AirH"IN ユーティリティーのヘルプを表示します。

参照

AirH"IN ユーティリティーの詳細については、ヘルプをご参照ください。

■ Firmware Version
AirH"IN のファームウェアバージョンを表示します。

AirH"IN ワイヤレスキーの ON/OFF

AirH"IN を利用するには、パソコンに「Fujitsu AirH"IN FP-U2 ドライバー」と「AirH"IN ユーティリティー」がインストールされている必要があります。確認方法については「AirH"IN ドライバー、ユーティリティーの確認方法」をご参照ください。さらにワイヤレスキーと AirH"IN モジュールが両方 ON になっている必要があります。ご購入時の設定は、両方とも ON です。

ヒント

・ ワイヤレスキーとは [Fn]+[F1] キーになります。

■ ワイヤレスキーの ON/OFF

タスクトレーのアイコンによって AirH"IN が使用可能か確認できます。

アイコン	状態	AirH"IN 使用可：○ 使用不可：×
	ワイヤレスキー：ON AirH"IN モジュール：ON	○
	ワイヤレスキー：ON/OFF AirH"IN モジュール：OFF	×
	ワイヤレスキー：OFF AirH"IN モジュール：ON	×

1 タスクトレーに表示されているアイコンを確認し、[Fn] キーを押しながら [F1] キーを押す。 （以下、[Fn]+[F1]）

▼アイコンが切り替わり、ON または OFF に設定される。

ヒント

- **アイコンの表示が切り替わるのに約 5 秒かかります。**

重要

- **AirH"IN ユーティリティーが起動していない場合、AirH"IN は使用できません。その場合には AirH"IN ユーティリティーを立ち上げてください。**

AirH"IN モジュールの ON/OFF

重要

- **電話契約をしていない場合、AirH"IN モジュールの ON/OFF を「ON」に設定できません。電話契約を行ってから設定してください。**

1 タスクトレーに表示されているアイコンを右クリックする。

▼メニューが表示される。

2 [ON] を選択する。

▼アイコンに切り替わる。

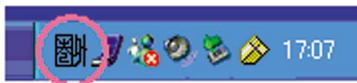
ヒント

- **AirH"IN モジュールを OFF にする時は、アイコンを右クリックし、メニューから、[OFF] を選択します。**

通信状態の確認

タスクトレーアイコンで、通信状態を確認できます。

アイコン	色	通信状態
	青	128K/32K パケット方式での通信
	オレンジ	フレックスチェンジ方式での通信
	赤	64K PIAFS BE/32K PIAFS 方式での通信

■ 圏外表示
圏外の場合、タスクトレーに「圏外」と表示されます。

パソコンのワイヤレスランプで、電波の状態を確認できます。

■ 電界強度表示 LED(パソコン本体のワイヤレスランプ)

LED の点灯状況	電界レベル
点灯	5
点滅	0～4
消灯	圏外

AirH"IN モデム名

モデム名は「Fujitsu AirH " IN FP-U2」となります。

COM ポートの確認

次の手順で COM ポートを確認します。

1 **[コントロールパネル] を開き [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックし、[モデム] タブをクリックする。**

2 **「Fujitsu AirH"IN FP-U2」の「接続先」を確認する。**

AirH"IN ドライバー、ユーティリティーの確認方法

Windows XP の場合

1 [スタート] ボタン－［コントロールパネル］ －［プログラムの追加と削除］の順にクリックする。

2 ［プログラムの変更と削除］ ボタンをクリックする。

3 [現在インストールされているプログラム] 欄の中に
　「Fujitsu AirH"IN FP-U2」
　「AirH"IN ユーティリティ」
　が表示されていることを確認する。

Windows 2000 の場合

1 [スタート] ボタン－ [設定] －［コントロールパネル］ - ［アプリケーションの追加と削除］ の順にクリックする。

2 ［プログラムの変更と削除］ ボタンをクリックします。

3 [現在インストールされているプログラム] 欄の中に
　「Fujitsu AirH"IN FP-U2」
　「AirH"IN ユーティリティ」
　が表示されていることを確認する。

ドライバー、ユーティリティーのインストール方法

AirH"IN ドライバー、ユーティリティーのインストール手順

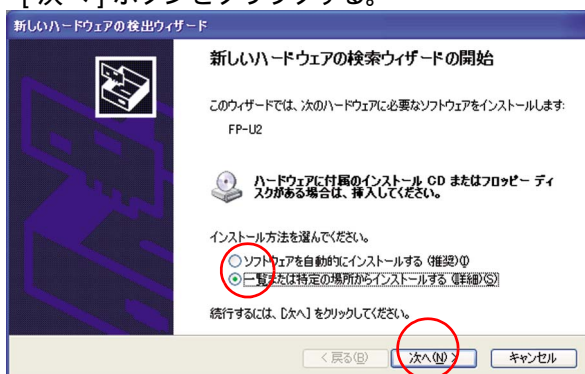
ドライバーとユーティリティーのインストール手順を説明します。

- AirH"IN ドライバーをインストールしてから AirH"IN ユーティリティーをインストールしてください。

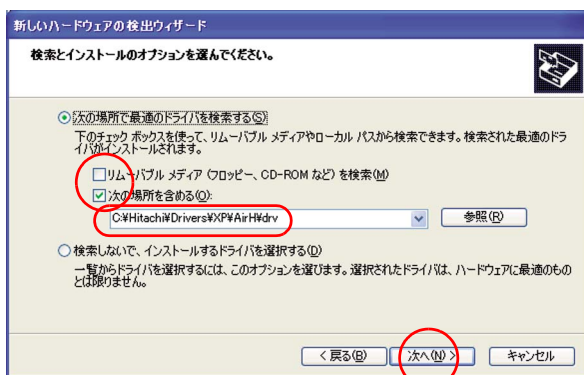
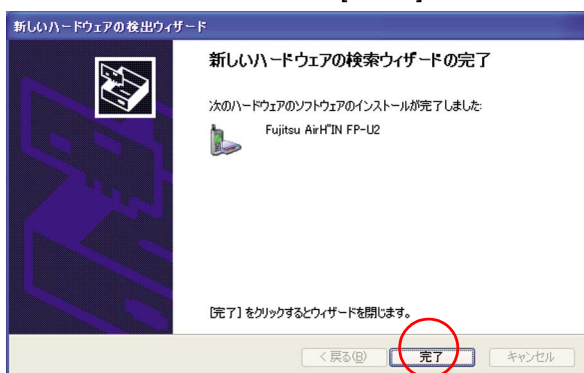
Windows XP の場合

AirH"IN ドライバー

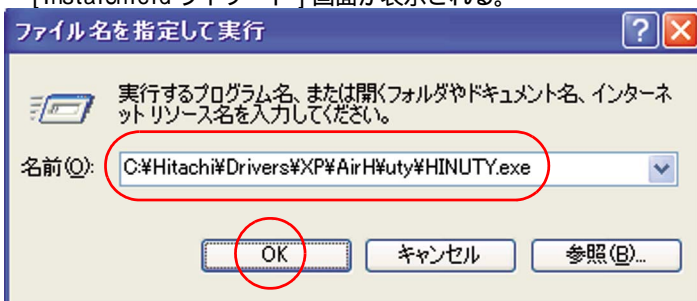
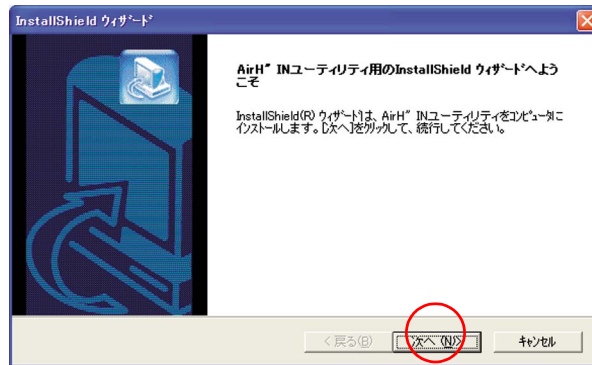
1 Windows を立ち上げた後、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。

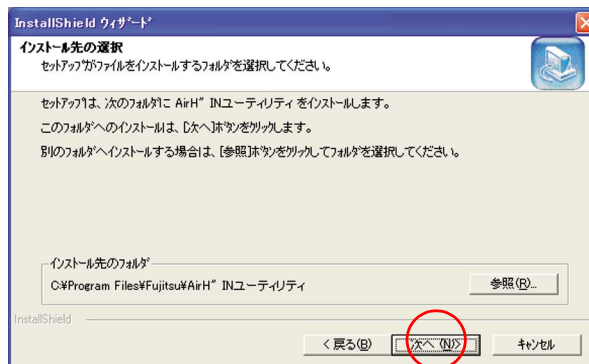
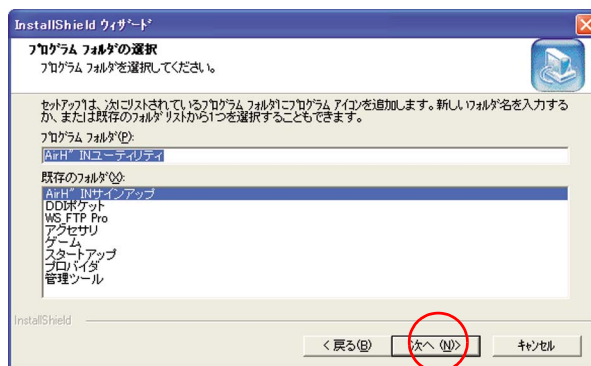
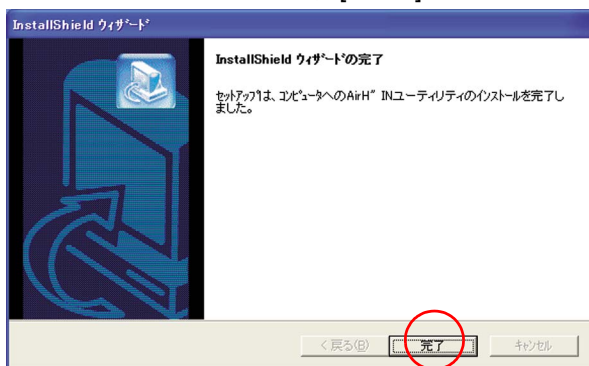
ヒント

- Windows を立ち上げた後、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されるまで 3 秒〜 15 秒くらい時間がかかります。

2 [次の場所で最適のドライバを検索する] を選択し、[次の場所を含める] を選択して、c:\hitachi\drivers\xp\airh\drv と入力し、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ドライバの検索後ファイルのコピーが始まる。

3 インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリックする。

■ AirH"IN ユーティリティー

1 [スタート] ボタン－[ファイル名を指定して実行] をクリックして開く。「名前」に c:\hitachi\drivers\XP\airh\uty\hinuty と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

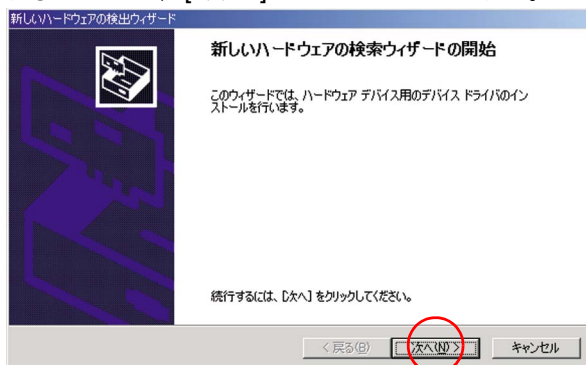
▼[InstalShield ウィザード] 画面が表示される。

2 [次へ] ボタンをクリックする。

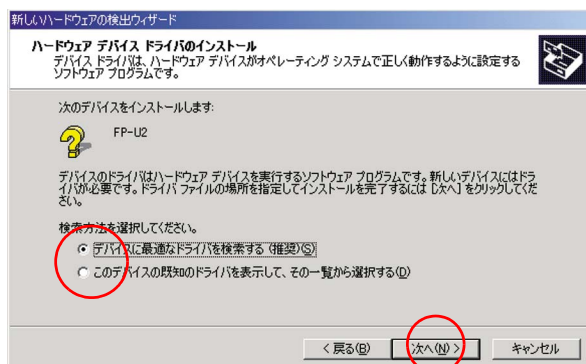
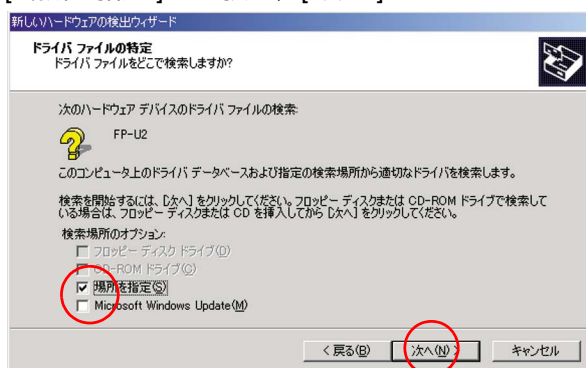
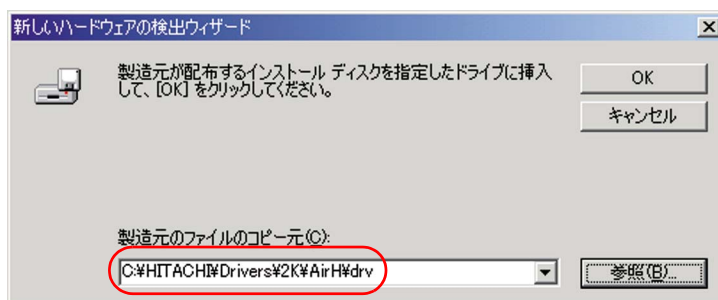
3 [次へ] ボタンをクリックします。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

5 インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリックする。

6 Windows を立ち上げ直す。

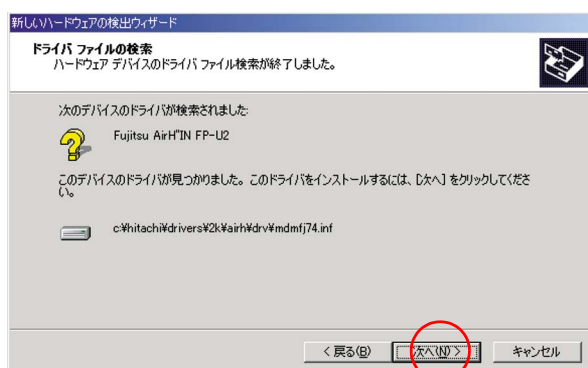
Windows 2000 の場合

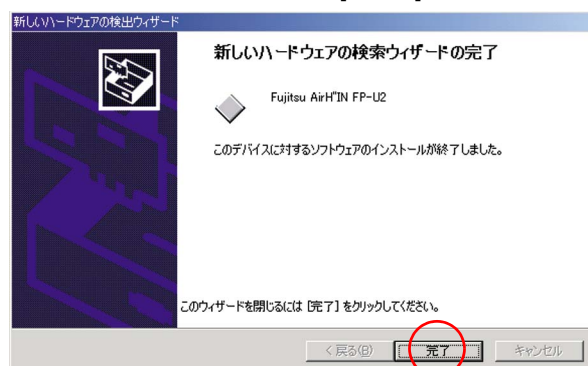
■ AirH"IN ドライバー

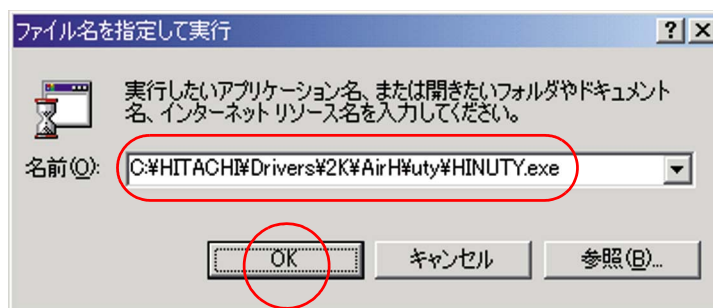
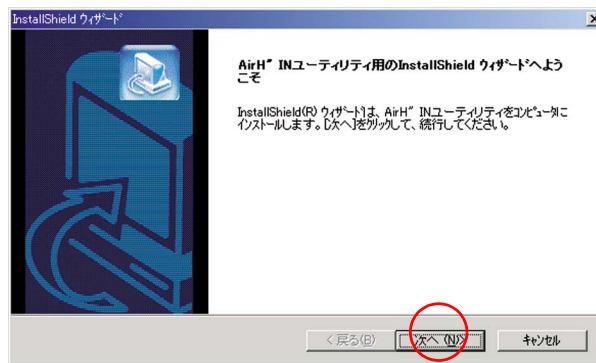
1 Windows を立ち上げた後、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されたら、[次へ] ボタンをクリックする。

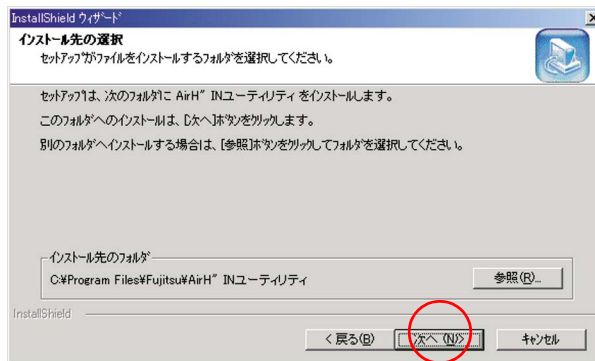
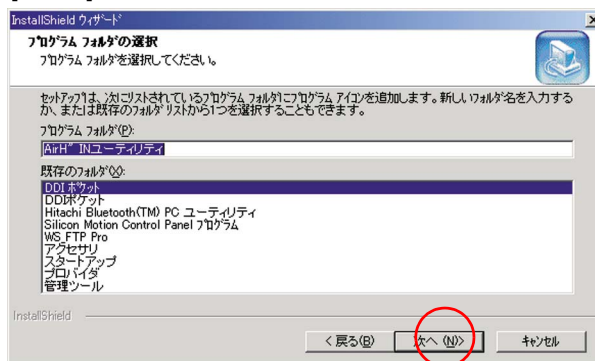
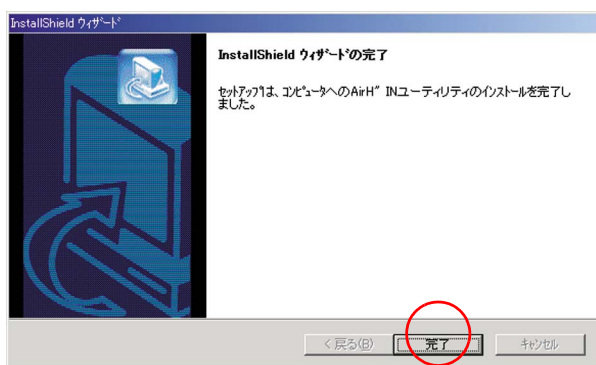
ヒント

・ Windows を立ち上げた後、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されるまで 3 秒～ 15 秒くらい時間がかかります。

2 [デバイスに最適なドライバーを検索する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。

3 [場所を指定] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。

4 [製造元のファイルのコピー元] に c:\Hitachi\drivers\2k\airh\drv と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ドライバの検索が始まる。

5 検索の終了後、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ファイルのコピーが始まる。

6 インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリックする。

■ AirH"IN ユーティリティー

1 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。「名前」に c:\hitachi\drivers\2k\airh\uty\hinuty と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ユーティリティーをインストールする為、[InstalShield ウィザード] 画面が表示される。

2 [次へ] ボタンをクリックする。

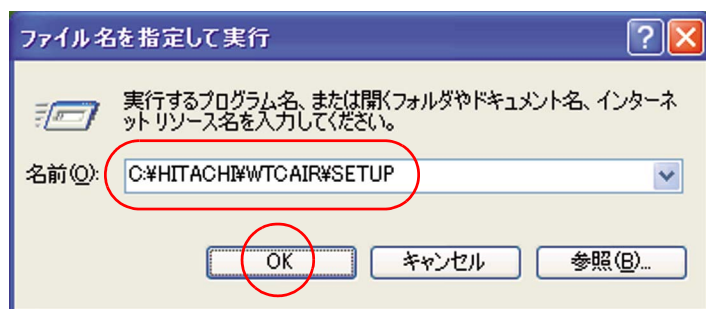
3 [次へ] ボタンをクリックする。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

5 インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリックする。

6 Windows を立ち上げ直す。

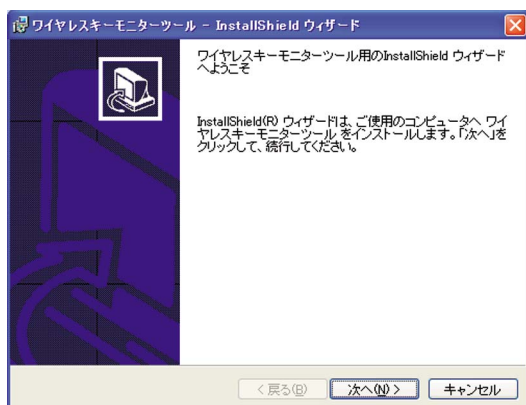
ワイヤレスキーモニターツール

プレ契約モデルをご購入のお客様は、本ツールを使用する必要はありません。オンラインサインアップモデルをご購入のお客様のみ本ツールをご使用願います。本ツールを使用する事により、ワイヤレスキー（[Fn] + [F1] キー）の ON/OFF の状態を確認することができます。AirH"IN サインアップで AirH"IN 電話の新規契約を行う場合と、機種変更を行う場合は、AirH"IN ユーティリティー画面でワイヤレスキーの ON/OFF の確認はできませんので、本ツールでワイヤレスキーが ON であることを確認して、AirH"IN サインアッププログラムを立ち上げてください。

インストール手順

本プログラムはプレインストールしていません。次の手順でインストールを行ってください。

1. **管理者権限で Windows を立ち上げる。**
2. **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックして開く。[名前] に C:\HITACHI\WTCAIR\SETUP と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

▼[InstalShield ウィザード] 画面が表示される。

3 画面のメッセージに従い、ユーティリティーをインストールする。

4 インストール後、Windows を立ち上げ直す。

使い方

[スタート] ― [(すべて) のプログラム] ― [ワイヤレスキーモニター] ― [ワイヤレスキーモニターツール] の順にクリックする。

▼[ワイヤレスキーモニターツール] が立ち上がり、ワイヤレスキーの ON/OFF 状態を確認できる。

ワイヤレスキー ON

ワイヤレスキー OFF

アンインストール手順

重要

・ 電話契約後、ワイヤレスキーのON/OFF状態はAirH"INユーティリティーで確認できるので、本ツールを削除してください。

1 管理者権限でWindowsを立ち上げる。

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
[名前] に C:\HITACHI\WTCAIR\SETUP と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

3 画面のメッセージに従い、アンインストールする。

AirH"IN サインアップ

AirH"IN サインアップ実行方法

プレ契約モデルをご購入のお客様は、AirH"IN サインアップを行う必要はありません。

オンラインサインアップモデルをご購入のお客様は、AirH"IN サインアッププログラムを実行して、DDI ポケット株式会社と契約を行って、電話番号を取得してください。
サインアップ後は、AirH"IN を使ったデータ通信がご利用いただけます。

■ 準備していただくもの
電話料金の引き出しを行うためのご本人名義のクレジットカードが必要です。また、郵便番号や住所などを入力してください。

■ Internet Explorer のプライバシー設定
Internet Explorer のプライバシー設定が「すべての Cookie をブロック」または「高」になっていますと、「只今サインアップセンタはご利用になれません」と表示され、サインアップ処理ができなくなります。
この場合、次の設定変更を行ってください。

Windows XP の場合

1. **[スタート] ボタン－ [コントロールパネル] の順にクリックする。**
2. **[インターネットオプション] をダブルクリックする。**
3. **[プライバシー] タブをクリックする。**
4. **設定が「すべての Cookie をブロック」または「高」になっている場合は、「中 － 高」以下に設定する。**
5. **[OK] ボタンをクリックする。**

Windows 2000 の場合

1. **[スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] の順にクリックする。**
2. **[インターネットオプション] をダブルクリックする。**
3. **[セキュリティ] タブをクリックする。**

4 [インターネット] アイコンがクリックされているのを確認し、セキュリティのレベルが [高] になっている場合は、[中] 以下に設定する。

5 [OK] ボタンをクリックする。

サインアップを実行

1 ワイヤレスキーを ON にする。

ヒント

・ 最初に購入された時は ON になっています。確認したい場合は、ワイヤレスキーモニターツールでご確認ください。

2 デスクトップの AirH"IN サインアップアイコンをダブルクリックして実行する。

3 ワイヤレスランプで電波状態を確認し、電波状態のよい場所で AirH"IN サインアップを行う。

参照

操作方法は同梱されている「AirH"IN サインアップマニュアル」をご覧ください。

4 サインアップで新規契約すると、後日 DDI ポケット株式会社より、書面にてユーザー登録キーが送付されてくる。案内に従ってユーザー登録を行う。

注意事項

■ 料金

AirH"IN サインアップを行うと即時 DDI ポケット株式会社との契約が成立します。これによって、契約事務手数料や基本料金等が発生いたします（「H"IN 使っただけコース」は基本料金はかかりません）。料金については、後日 DDI ポケット株式会社から送付されます書類にてご確認ください。ご不明な点は、DDI ポケットサービスセンターにお問い合わせください。

■ ユーザ登録

AirH"IN サインアップを行うと、ユーザ登録キーが送付されます。ユーザ登録キーには、有効期限があります。期間内にユーザー登録が行われませんと電話機能が停止されますので、お早めにユーザ登録をお済ませください。

■ リカバリー操作による再サインアップ不要

取得した電話番号は本体に内蔵されてます AirH"IN モジュールに内容が格納されてます。パソコンをリカバリーにより再セットアップを行う場合、
再度サインアップは必要ありません。

AT コマンド

AT コマンドリスト

■ A/　直前に実行したコマンドを再実行する

● フォーマット　A/　（ キーは入力しないでください ）

・ コマンドの前に「AT 」を付けません。

■ A　手動着信での接続シーケンスを開始する

● フォーマット　ATA

■ D　自動的に電話をかける

● フォーマット　ATDx パラメータ

パラメータの中では、次の電話番号やダイヤルオプションが使えます。
0 ～ 9、*、#

L： 最後にかけた電話番号でリダイヤルします。

電話番号の末尾に ##Xx が記述されている場合は、下記の発信処理が行われる。
※ S103 レジスタによってサブアドレス設定を '#' に設定している場合には使用不可です。

X=3 32kPIAFS 発信
X=4 64kPIAFS 発信
 x=1: PIAFS2.0
 x=2: PIAFS2.2（X=4 の場合のデフォルト）
X=6 パケット発信
 x=1: 32kbps パケット発信
 x=4: 128kbps パケット発信
X=7 フレックスチェンジ方式発信

電話番号最語尾に S=103 で設定するキャラクタを記述することにより、それ以降の文字列はサブアドレス番号となる。（@D1 設定時のみ）

■ E　コマンド入力時のエコーを設定する

● フォーマット　ATEn　（n は 0、1）

● パラメータ　　n ＝ 0 コマンドエコーなし。

n ＝ 1 コマンドエコーあり。　…標準値

■ H　フックスイッチをオンフック / オフフックする

● フォーマット　ATH

■ O　エスケープモードからオンラインモードに復帰する

● **フォーマット　ATOn**

・ エスケープモード中にこのコマンドを入力するとオンラインモードに戻ります。オンラインモードに戻ると "CONNECT" と表示されます。

■ Q　リザルトコードの有無を設定する

● **フォーマット　ATQn　(n は 0、1)**

● **パラメータ　　n ＝ 0 リザルトコードあり。　…標準値**

n ＝ 1 リザルトコードなし。

■ S　S パラメーターの設定、変更、表示を行う

● **フォーマット　ATSxxx ＝ yy 指定 S パラメーターへの設定**

ATSxx? 指定 S パラメーターの表示

● **パラメータ　　xxx =0，　yy=0 ～ 50　自動着信回数の設定**

呼び出し信号を検出し、設定された回数で自動着信を行う。

xxx = 103，　yy = 0 ～ 3　サブアドレスの区切り

サブアドレスを付加して発信する場合のキャラクタを設定する。

Yy = 0 : '/'
= 1: '\'
= 2: '*' 標準値
= 3: '#'

■ V　リザルトコードの表示形式を設定する

● **フォーマット　ATVn　(n は 0、1)**

● **パラメータ　　n ＝ 0 数字形式のリザルトコードを表示します。**

n ＝ 1 単語形式のリザルトコードを表示します。　…標準値

Q コマンド（リザルトコードの有無の設定）

■ W　プロファイルからモデムの設定値を読み込む。

● **フォーマット　ATW**

■ Z　電源投入時と同様に初期化する

● **フォーマット　ATZ**

・ 不揮発性メモリーに登録されている設定値で初期化されます。
&W コマンド（不揮発性メモリーに保存）

■ &F　出荷時の設定に戻す

● **フォーマット　AT&F**

&W コマンド（不揮発性メモリーに保存）

■ &W　現在の設定値を不揮発性メモリーに保存する

● フォーマット　AT&W

・ 不揮発性メモリーへコマンド設定やパラメーターの内容を保存します。

■ @D　着サブアドレス有無を設定する

● フォーマット　AT@Dn　(n は 0、1)

● パラメータ　n ＝ 0　S103 で設定されるキャラクタ以降の文字列も電話番号

n ＝ 1　S103 で設定されるキャラクタ以降の文字列はサブアドレス…標準値

■ @Z　自局の電話番号表示

● フォーマット　AT@Z

・ 端末に登録されている電話番号を表示する。電話番号が表示されていない場合は OK を返す。

付録

制限事項

・ フレックスチェンジ方式 (ネット 25)、32K パケット方式 (つなぎ放題コース)、128K パケット方式 (つなぎ放題コース＋オプション 128) の料金コースをご利用の場合、回線交換方式 (32K PIAFS、64K PIAFS BE) で通信を行うと、別途回線交換料金が発生します。

・ ベストエフォート方式の場合、基地局の利用状況によっては 64Kbps の通信速度が得られず 32Kbps の通信となることがあります。

・ 64K PIAFS BE で接続するには、アクセスポイントがベストエフォート方式 (PIAFS2.1/2.2 準拠) に対応している必要があります。

・ 128K パケット方式の場合、基地局の利用状況によっては 128Kbps の通信速度が得られない場合があります。

・ 32K パケット方式の場合、基地局の利用状況によっては 32Kbps の通信速度が得られない場合があります。

・ 各通信方式を使用するには、その通信方式用のアクセスポイントに接続する必要があります。また、アクセスポイントの電話番号のあとに、適切な番号を付加する必要があります。たとえば、アクセスポイントの電話番号が 123-456-7890 なら、128K パケットの通信方式の場合は、1234567890##64 を電話番号として設定します。

・ フリーソフト「H" 問屋」はサポートしておりません。

・ AirH"IN で通信を行う場合、電波状態がよくないとデータ通信が行えない場合があります。電波状態を確認し、電波状態のよい場所でご利用ください。

・ AirH"IN を OFF にしても契約は続行されていますので、「H"IN を使っただけコース」以外を選択されている場合は基本料金がかかります。

・ 家庭モードはサポートしておりません。

・ ユーティリティーの設定や使用方法については、ヘルプをご覧下さい。

・ ご利用に際しては、DDI ポケット株式会社への加入契約が必要です。

・ つなぎ放題、ネット 25 コースの場合、64K PIAFS BE、32K PIAFS で通信利用の際には、別途回線交換料金が発生します。

注意事項

搭載されております AirH" IN モジュールは日本国内でのみ使用できます。
海外で使用した場合は罰せられることがありますのでご注意ください。
海外ではワイヤレスキーで必ず OFF にしてください。

AirH"IN仕様

インタフェース	PIAFS方式：32Kbps/64Kbps(ベストエフォート方式)
	128Kパケット方式：128Kbps
	32Kパケット方式：32Kbps
	フレックスチェンジ方式：32Kbps/64Kbps

AirH"IN 取扱説明書

初　版　2003年 2月

株式会社　日立製作所
インターネットプラットフォーム事業部
〒243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地
お問い合わせ先：HCA センタ 0120-2580-91